

68 下衣（股のあるもの）に関する基本型とその展開について

共立女子大 藤原 房江

1 自由と創意への考え方の開放は戦後急激に生活様式に対しての考え方と実際に影響してきた。そこでいつの時代にもその変遷、要求に対応し得る製作の根本、即ち基本的な要素を持つ物の研究が必要になった。今ここに衣服の中、運動量の大きい下半身のものについての体形、筋肉活動、着装及び型態についての各々の角度より本質的なものを究明する。

2 女子中学 1, 2, 3 年対象

(1) 下半身の体形の測定（測定の部分、各部の長さの測定、各部丸みの測定、各部の幅と厚みの測定）

(2) 筋肉活動による緊張度の測定 A 座った時の膝と腰部の緊張度の測定、B 腰かけた時の膝と腰部の緊張度の測定、C 歩行の時の膝と腰部の緊張度の測定、D 走る時の膝と腰部の緊張度の測定、E 跳躍の時の膝と腰部の緊張度の測定、(3) 適当量のゆるみの注出、

(4) 機能美を盛るスラックスの基本型、(5) スラックスの基本型よりの展開。

A ズロース、ブルマース、パンティース。B 広いすそ幅のもの、細まったすそ幅のもの。

3 静止時と活動時とのそれぞれの場合によって活動が布地に要求する幅と長さを知る事が出来た。これにより機能にさまたげの無い限界を知り得ると共に多面的に展開をなし得る基本を得ることが出来た。